

栃木県及び周辺の地震活動（令和 8 年 8 月）

【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は 4 でした。期間内に県内で震度 1 以上を観測した地震は 15 回（前月 6 回）、震度 3 以上を観測した地震が 1 回（前月 0 回）ありました。

【栃木県及び周辺の地震活動】

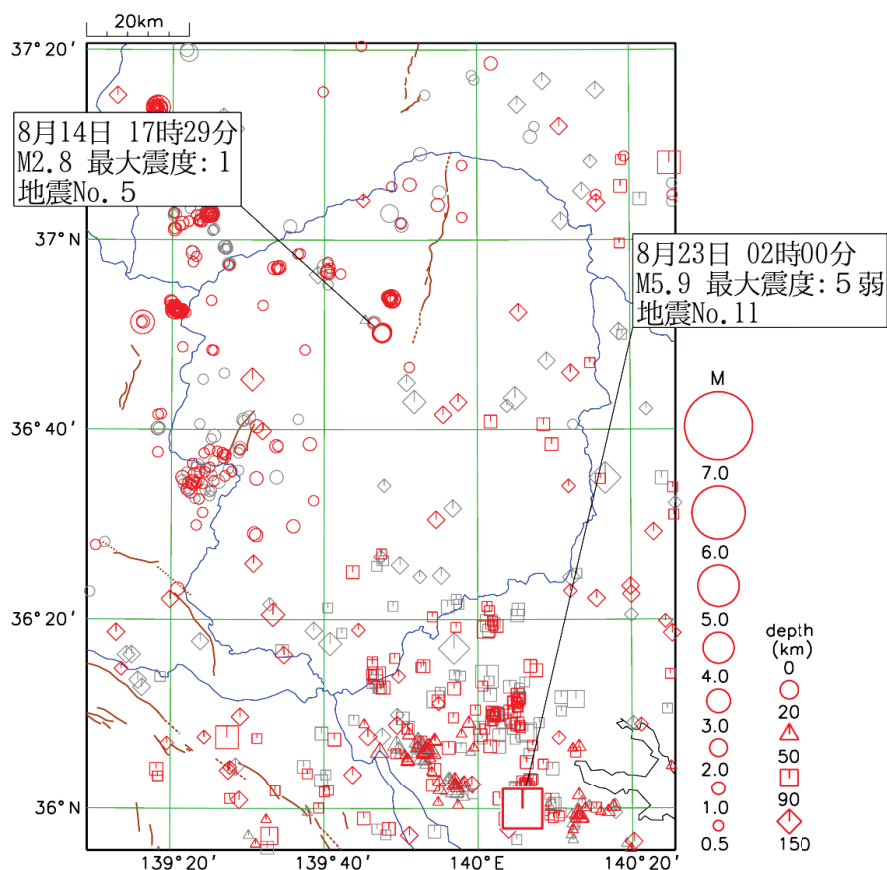


図 1 震央分布図（2026 年 7 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震及び県内を震源とする震度 1 以上を観測した地震です。地震 No. は県内で震度 1 以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・M はマグニチュードで 0.5 以上、深さ（depth）は 150km までの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

【8月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード*	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	8月5日	18時05分	東京都23区	35° 39.7'	139° 42.9'	118	3.3	1	1
2	8月8日	03時41分	茨城県北部	36° 45.1'	140° 35.0'	10	3.9	3	1
3	8月9日	18時59分	千葉県北西部	35° 47.8'	140° 05.8'	69	3.4	1	1
4	8月14日	04時21分	愛知県西部	35° 17.2'	137° 18.4'	291	4.5	1	1
5	8月14日	17時29分	栃木県北部	36° 50.1'	139° 47.5'	5	2.8	1	1
6	8月15日	06時58分	埼玉県北部	36° 07.6'	139° 27.3'	66	3.6	2	2
7	8月15日	10時10分	福島県沖	37° 03.8'	141° 11.7'	49	4.6	3	2
8	8月20日	08時38分	茨城県北部	36° 27.8'	140° 36.1'	55	3.7	2	2
9	8月20日	14時28分	茨城県沖	36° 22.4'	140° 56.4'	40	4.1	3	1
10	8月21日	21時02分	八丈島東方沖	33° 38.8'	140° 31.6'	63	5.4	3	1
11	8月23日	02時00分	茨城県南部	35° 59.9'	140° 05.7'	68	5.9	5弱	4
12	8月26日	05時23分	福島県沖	37° 21.6'	141° 48.4'	40	4.6	2	1
13	8月26日	08時33分	茨城県南部	36° 06.1'	139° 53.6'	47	3.5	2	2
14	8月27日	04時21分	三陸沖	38° 04.2'	143° 49.8'	28	5.8	2	1
15	8月30日	00時17分	千葉県東方沖	35° 48.9'	140° 52.7'	33	4.8	4	1

・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

【震央分布図範囲内の地震】

1. 茨城県南部（地震No. 5）

14日17時29分に栃木県北部で発生した地震（深さ5km、M2.8）により、日光市と那須塩原市で震度1を観測しました（図2）。

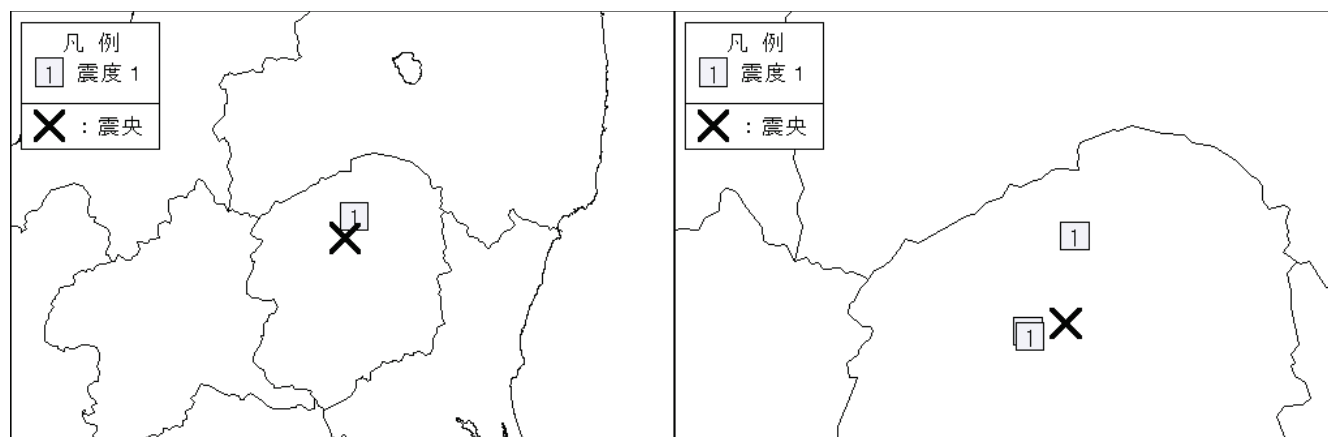


図2 14日17時29分 栃木県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

2. 茨城県南部（地震No. 11）

23日02時00分に茨城県南部で発生した地震（深さ68km、M5.9）により、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都で震度5弱を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度4から1を観測しました。栃木県では宇

都宮市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、高根沢町で震度4を、13市町で震度3を観測しました（図3）。

気象庁は、この地震に対して栃木県を含む関東地方とその周辺に緊急地震速報（警報）発表しました。

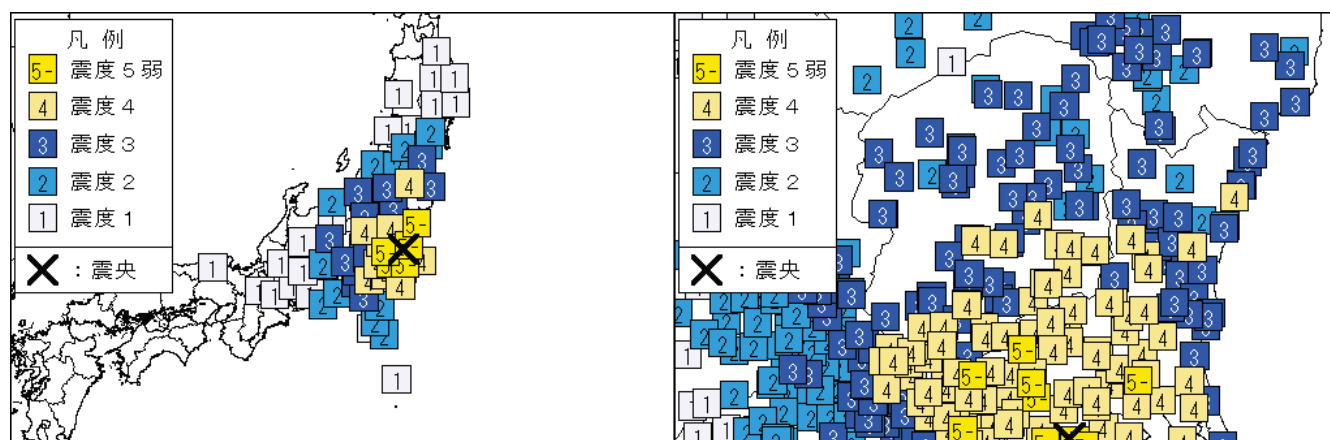


図3 23日02時00分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

【震央分布図範囲外の地震】

今期間中、県内で震度3以上を観測する地震などの目立った地震活動はありませんでした。

【防災メモ】近畿地域の活断層の地域評価

地震調査研究推進本部では、社会的・経済的に大きな影響を与えられ、マグニチュード（M）7以上の地震を引き起こす可能性のある主要活断層帯（基盤的調査観測の対象活断層帯）について、個別に長期評価を行ってきました。

しかし近年、M7未満の地震や主要活断層帯以外の地震によっても被害が生じていることから、ある地域の地震危険度を検討するためには、個別の活断層を評価するだけでなく、その周囲の活断層も含めて総合的に評価する必要があることが明らかになってきました。

これを受けて、地震調査研究推進本部では、

- ・対象地域に分布する活断層で発生する地震を総合的に評価する「地域評価」の導入
- ・評価対象とする活断層の見直し
- ・地表の長さが短い活断層における、地質や地球物理学的情報を用いた地下の震源断層の位置・形状（長さなど）の評価等を含めた新たな評価手法をとりまとめました（活断層の長期評価手法（暫定版）（平成22年11月25日））。

こうした新たな評価手法に基づき、陸域及び沿岸海域に分布し、M6.8以上の地震を引き起こす可能性のある活断層について、対象とする地域ごとに総合的に評価したものを「活断層の地域評価」と呼んでいます。

今回、近畿地域の活断層の長期評価が行われ、令和8年8月28日に公表されました。

なお、関東地域の活断層の長期評価は、平成27年4月24日に公表されています。

- ・近畿地域の活断層の地域評価（地震調査研究推進本部）
https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/regional_evaluation/kinki-detail/
- ・関東地域の活断層の地域評価（地震調査研究推進本部）
https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/regional_evaluation/kanto-detail/
- ・地震調査研究推進本部
<https://www.jishin.go.jp/>

- ・地震から身を守るために

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin_bosai/index.html

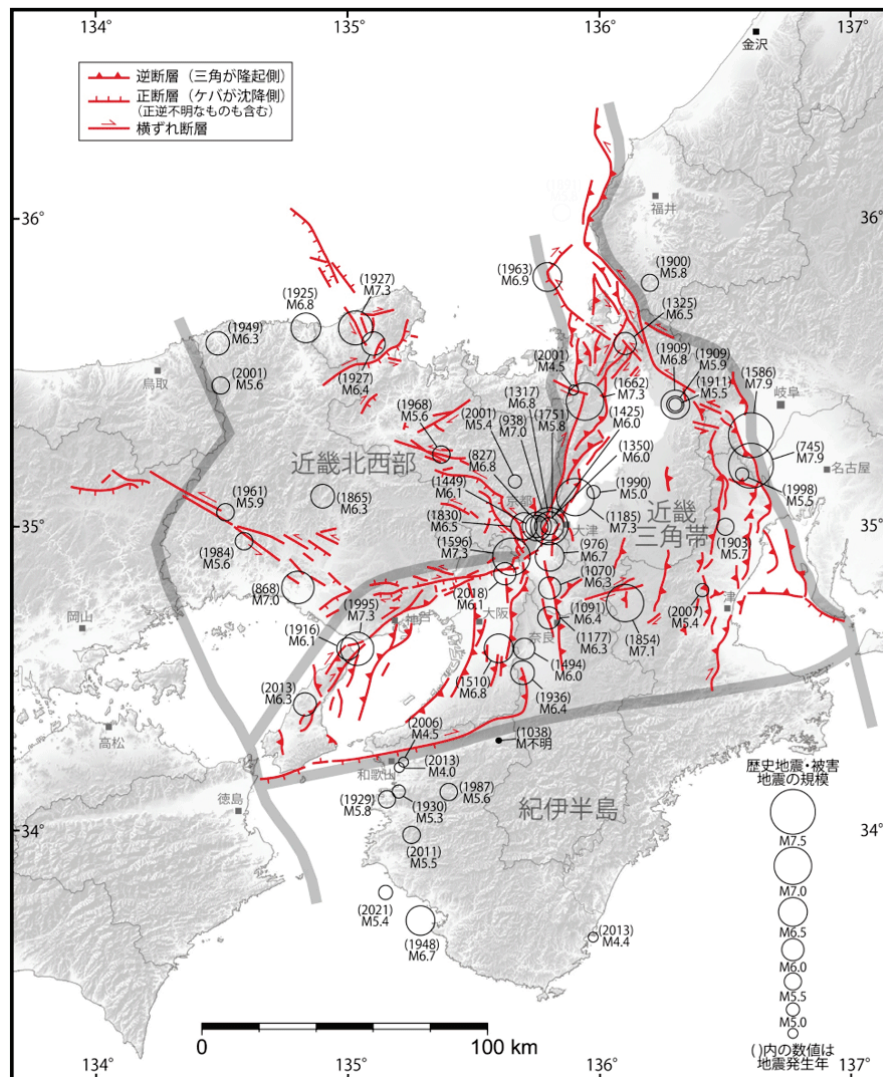


図4 近畿地域（評価対象全域）において評価の対象とする活断層のずれの向きと種類及び歴史地震・被害地震の震央（出典：地震調査研究推進本部）